

はしがき

戦時期を除き一貫して増加を続けてきた神奈川県の人人口も、数年以内に減少に転ずるとされていますが、県内公共図書館における貸出冊数については、一足早く平成22年度に減少に転じ、時代の流れを感じます。

資料費の削減によって蔵書の魅力が低下した、電子書籍など様々な電子情報によって情報源が多様化した、施設が老朽化したなど、図書館ごとの事情や、様々な見方もあると思われま。確かに貸出偏重との批判もありますが、貸出冊数は図書館にとって重要なサービス指標でありますので、各館での十分な分析と対応が必要です。

また、情報の電子化が着実に進展し、国立国会図書館による公衆送信がスタートするなかで、書庫内で年月を重ねている膨大な書物の利用価値がどのように変化していくのでしょうか。図書館の大きな関心事ですが、予測は難しく、引き続き注視する必要があります。

一方、昨年度来、緊急経済対策の一環としての県立の図書館の集約化、閲覧と貸出の廃止の検討が、大きくマスコミでも取り上げられています。改めて、県立の図書館の意義を県民の皆様に訴える機会ともなりましたが、検討は続いています。

さて、公共図書館界では、武雄市立図書館の指定管理者制度に注目が集まっています。図書館サービスだけではない新たなサービスも提供され、人気を博しています。県内では、川崎市立中原図書館がリニューアルオープンしました。自動書庫、自動貸出機などICT技術による効率化を図りながら、利用者を大きく伸ばしています。

また、大学図書館界では、ラーニングコモンズといわれる新たなサービスが様々に生み出されてきています。学生に寄り添って積極的なサービスを行おうとしているように見受けられます。

このような事例が他の図書館に刺激を与え、更なるサービス向上に向けた取組みが期待される所です。そうした相互の切磋琢磨を進めるためにも、本協会の調査研究活動は重要と考えますし、また、その一環として、各加盟館の図書館活動の状況を明らかにすることには大きな意味があるものと考えております。

この「神奈川の図書館」が、各館の現状把握、将来に向けた検討に際しまして、皆様にとって有意義なものとして活用されますとともに、図書館関係者をはじめ、神奈川の図書館を支援していただける皆様の参考となることを願っております。

なお、本誌も、本年度からホームページにおいて、電子情報としても発信いたしますので、更なるご活用をお願い申し上げます。

2013年9月

神奈川県図書館協会
会長 平野 達夫

神奈川県内図書館等の動き

(2012年4月～2013年3月)

1 はじめに

(1) 加盟館数 (2013年4月現在)

公共図書館 75 館、大学図書館 36 館、専門図書館 14 館、合計 125 館、個人会員の加入数は 15 名

※ 湘南短期大学図書館が 2013 年 3 月に退会した。

(2) 公立図書館等の設置状況

県立は 2 館設置

市については 19 市の全市が設置

町村については、図書館 (室) 条例制定は 14 町村のうち 7 町村 (葉山町・寒川町・大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町・清川村) となり、町村の設置率は 50%

その他公民館条例等により図書館活動を行っている町は 7 町

(3) 本協会の動き

第 14 回図書館総合展 (パシフィコ横浜 開催) に参加、協会の諸活動をパネル等で PR したブース展示 (広報委員会が担当)、及びフォーラム「北欧の図書館から学ぼう～なぜ北欧の公共図書館には行列ができるのか～」(研修委員会が担当) を実施 (2012 年 11 月)

2 公共図書館

月	図書館名	事項
4 月	鎌倉市立図書館	近代史資料室を近代史資料担当として担当係長 (兼務) を配置
6 月	川崎市立図書館	大師分館・田島分館蔵書に I C タグ貼付
	小田原市立図書館	図書館ネットワークシステム更新 (クラウド型)
	まなづる図書館	図書館システム機器の更新
7 月	大和市立図書館	DAISY 及びマルチメディア DAISY (音声録音図書) を導入
9 月	川崎市立図書館	9 都県市合同企画「自慢したい風景」展示
	大和市立図書館	未就学児とその保護者を対象に「こどもタイム (毎週火曜日午前 10 時～12 時)」を開始
10 月	相模原市立図書館	窓口業務の委託を開始
	大和市立図書館	0～2 歳児向けの「おひざでだっこのおはなし会 (毎月第 1 火曜日)」を開始
11 月	川崎市立図書館	宮前図書館電動書庫リニューアル工事
12 月	川崎市立図書館	川崎市立図書館設置条例改正 (中原図書館移転)
	南足柄市立図書館	図書館システム更新
1 月	川崎市立図書館	中原図書館新館移転のため休館 (蔵書に I C タグ貼付、移転作業、開館準備。予約本受取用臨時窓口開設 (2 月末まで))
	南足柄市立図書館	市内各小中学校 9 校の学校図書館に学校図書館システムが導入され、市立図書館とネットワークで結ばれた
	大井町図書館	システム入替

1月	二宮町図書館	図書館システム更新
2月	鎌倉市立図書館	「第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画」を策定
3月	川崎市立図書館	日本映画大学附属図書館と相互利用協定締結（4月開始） 新中原図書館開館式典（一般供用開始は4月から）
	鎌倉市立図書館	「鎌倉市中央図書館近代史資料室だより」（年2回発行）発刊

3 大学図書館

月	図書館名	事項
4月	日本大学生物資源 科学部図書館	図書館ガイダンスで学生サークル制作の利用学内ビデオ放映
4月～ 3月	フェリス女学院 大学附属図書館	読書運動プロジェクト「フェリスの一冊の本」2012年度テーマ： 世界から見たジブリ
5月	神奈川県立保健福 祉大学附属図書館	図書管理システム更新（iLiswave-J）
	専修大学図書館	春の企画展「はじめて観るマニュスクリプトー世界でひとつと いう魅力ー」
	日本大学生物資源 科学部図書館	図書館開館20周年記念展示「図書館のいまー昔」
	小田原女子短期 大学図書館	視聴覚ルーム用機器（DVDプレーヤー・テレビ）更新 外部データベース「医学文献情報サービスメディカルオンライン」利用開始
6月	日本大学生物資源 科学部図書館	大学院学生による学習支援「ヘルプディスク」開設 学生選書ツアー開催、他学部学生と合同選書。書評合戦
7月	北里大学教養 図書館	運営委員交代（江川 徹 教授より高津 昌宏 教授へ）
	桐蔭横浜大学 大学情報センター	閉館時刻変更（月～土） 19時 ⇒ 21時閉館
8月	日本大学生物資源 科学部図書館	学習支援用パソコン15台増設。
8月～ 10月	桐蔭横浜大学 大学情報センター	図書館改修工事（館内ゾーン分け、個人用閲覧席の増設）、利用 者用パソコン増設
10月	相模女子大学 附属図書館	図書館開館20周年を記念し、図書館パンフレットを刊行
	小田原女子短期 大学図書館	小峰祭（学園祭）時、資料展示：「パラパラブックス」／リサイ クル資料提供（一般公開）
11月	専修大学図書館	シンポジウム「ミシェル＝ベルンシュタイン文庫史料の価値と 古書籍商M＝ベルンシュタインの実像ーフランス側との共同調 査研究の成果を踏まえてー」
1月	日本大学生物資源 科学部図書館	図書館開館20周年記念展示「イギリス農業史コレクション」

月	図書館名	事項
2月	フェリス女学院 大学附属図書館	神奈川近代文学館との共催で朗読発表会：「With～共に生きて～」開催
3月	青山学院大学 万代記念図書館	就学キャンパス再配置により、理工学部・社会情報学部以外の学部が青山キャンパスに移転
	フェリス女学院 大学附属図書館	入退館システム入替（ICカード対応、図書館システムと連動させ利用者情報と照合）
	小田原女子短期 大学図書館	春季図書館所蔵資料展（一般公開、地域住民29名来館）、テーマ：「ターシャ・テューダーの一年～絵本作家ターシャと過ごすバーモントの四季～」

4 専門図書館

月	図書館名	事項
4月	横浜開港資料館	平成24年度第1回企画展示「横浜の海 七面相」4.21(水)～7.16(日)
5月	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター図書室	図書管理システム更新（iLiswave-J 県立保健福祉大学附属図書館と共通）
7月	横浜開港資料館	平成24年度第2回企画展示「生麦事件 激震、幕末日本」7.19(水)～10.21(日)
10月	神奈川県立地球市民かながわプラザ情報フォーラム・映像ライブラリー	映像ライブラリーの図書分類・配架方法について、従来の日本十進分類法（NDC）によるものから当館のテーマごとに配架する方法に変更（当館のテーマである9分野に分類し、さらに各分野の中でNDC新訂8版による分類を行う）
	横浜開港資料館	平成24年度第3回企画展示「事業を興せ！—近代ヨコハマ起業家列伝—」10.24(水)～H25.1.27(日)
1月	横浜開港資料館	平成24年度第4回企画展示「スポーツがやってきた！ 近代横浜スポーツ史」H25.1.30(水)～4.21(日)
3月	神奈川県立神奈川近代文学館	夏目漱石デジタル文学館（所蔵資料デジタル画像アーカイブ）が完成（光交付金事業）

5 刊行物 〈神奈川県図書館協会 編集・刊行〉

●神奈川県郷土資料集成 第13集 神社明細帳(三浦郡)	2,500円
●神奈川県郷土資料集成 第12集 相模国鎌倉郡村誌	5,000円
●神奈川県郷土資料集成 第11集 神奈川地誌	1,800円
●神奈川県郷土資料集成 第8集 和歌篇	1,400円